

ナガサキアゲハ

かつて、このチョウは静岡県には全く分布していませんでした。それが近年の分布拡大により、静岡県や神奈川県、東京都内でも目撃されるようになりました。現在では栃木県や群馬県でも目撃されています。分布拡大の原因の一つとして、地球温暖化の影響が考えられます。

飛び方は、他のアゲハ属に比べるとかなり緩やかで、春型はツツジ類やミカン類の花を訪れるものが多いです。蛹の形で冬を越します。

幼虫の主な食草は、ネーブルオレンジ、ウンシュウミカン、ユズ、ハッサク、ナツミカン、ダイダイ、グレープフルーツ、キンカンなどのミカン科植物です。幼虫の飼育は難しくありませんが、共食いをすることがあります。



富士市での現状

標高の低い市街地でもよく見られますが、ミカン畑が多い須津地区、岩本地区、中之郷地区、木島地区等ではよく見られます。また、よく見られる時期は、夏から秋にかけてです。

ナガサキアゲハを確認したメッシュ

